

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 家 庭

| 番号 | 発 行 者 略 称 | 教 科 書 番 号 |
|---------------------------------------|---|----------------|
| 観 点 | 東書（東京書籍） | <新しい家庭> 501 |
| 取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A 家族・家庭生活」については、家族や地域の人々と協力し、よりよい家庭生活に向けて考え工夫する活動として、第5学年では自分にできる仕事を見つけたり、家族団らんをもつ計画を立てたりすること、第6学年では生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりすること。 ・「B 衣食住の生活」については、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え工夫する活動として、第5学年では「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」等を調理したり、「マイ・ミニバッグ」や「エプロン」等を製作したり、整理整頓や掃除の仕方を考えたりすること、第6学年では栄養のバランスのとれた朝食を調理したり、家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり、「トートバック」など目的に合った作品を製作したり、季節の変化に合わせた着方や過ごし方を考えたりすること。 ・「C 消費生活・環境」については、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え工夫する活動として、第5学年では目的に合った物の選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりすること、第6学年では目的や品質を考えた適切な買い方を考えること。 ○ 「家族・家庭生活についての課題と実践」に関しては、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、家族のために小物入れを作ったり、年末掃除の計画を立てたりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各題材において、日常生活から課題を発見させ、解決の見通しをもたせるとともに、学習したことを生かして生活をよりよくする様々な方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にしてわかりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 | |
| 内容の構成・排列・分量等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、学習内容を27の大題材（45の小題材）で構成し、「自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう」や「手ぬいのよさを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分の献立を立てて、調理しよう」や「計画を立てて、工夫して作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるようになっている特徴がある。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は28ページ、「B衣食住の生活」は95ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」5ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページ、「その他」はなく、総ページ数は145ページで、前回より約12%増となっている。（判型はA4判） ○ 北海道とかかわりのある内容が2箇所取り上げられている。 | |
| 使用上の配慮等 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の「活動」は、「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」など、主体的・対話的に学習ができるように工夫されている。また、全てのステップ3に活動「深めよう」を設定し、既習事項を活用して、児童が主体的に学びを深めることができるようになっている特徴がある。 ○ 「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載し、必要に応じて調べさせたり、「生活を変えるチャンス！」を示したりすることで、児童の生活の中から課題を見つけられるような促しや、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような特徴がある。 ○ Dマークがついている内容には動画等のデジタルコンテンツが活用できるようになっており、より効果的に授業を進めるための資料が掲載されている特徴がある。 ○ 各大題材において、家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、学習する上での大切な視点が意識できるようになっている特徴がある。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、大題材ごとに「学習の流れ」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 | |

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 家庭

| 番号 | 発行者略称 | 教科書番号 |
|---|--|------------------------|
| 観点 | 開隆堂（開隆堂） | <小学校 わたしたちの家庭科> 502 |
| 取 扱 内 容 学習指導要領の 総則及び各教科・ 各学年の目標・ 内容等 | <ul style="list-style-type: none">○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。<ul style="list-style-type: none">・「A 家族・家庭生活」については、家族や地域の人々と協力し、よりよい家庭生活に向けて考え工夫する活動として、第5学年では自分のできる家庭の仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりすること、第6学年では生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりすること。・「B 衣食住の生活」については、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え工夫する活動として、第5学年では「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を調理したり、「カード入れ」や「ランチョンマット」等を製作したり、寒い季節を暖かく快適に過ごす着方や住まい方を考えたりすること、第6学年では栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたり、「マイバッグ」など目的に合った袋の製作をしたり、暑い季節を涼しく快適に過ごす着方や住まい方を考えたりすること。・「C 消費生活・環境」については、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え工夫する活動として、第5学年では計画的な買い物の仕方を考えたり、環境を考えた衣服の着方や住まい方、第6学年では環境に配慮した生活について考えること。○ 「家族・家庭生活についての課題と実践」に関しては、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるように、家族のために昼食を作ったり、布を使ってプレゼントを製作したりするなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各題材において、日常生活から課題を発見させ、解決の見通しをもたせるとともに、身に付けた知識や技能を自分の生活に生かす様々な工夫を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にしてわかりやすく説明・発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 | |
| 内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等 | <ul style="list-style-type: none">○ 内容の構成・排列については、学習内容を23の大題材（59の小題材）で構成し、「生活を支える家庭の仕事」や「手ぬいを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分のこんだてを立てよう」や「目的に合ったふくろを作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるようになっている特色がある。○ 内容の分量については、「A家族・家庭生活」は25ページ、「B衣食住の生活」は42ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びC消費生活・環境」4ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は46ページ、「その他」は12ページあり、総ページ数は137ページで、前回より約20%増となっている。（判型はA B判）○ 北海道とかかわりのある内容が7箇所取り上げられていることが特色である。 | |
| 使 用 上 の 配 慮 等 | <ul style="list-style-type: none">○ 各題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して、最後には「ふり返ろう・生活に生かそう」で家庭実践につなげるように工夫され、学習過程では「できたかな」チェックなども取り入れるなど、児童が主体的に学びを深めることができるような特色がある。○ 生活の様々な場面を想起することができる写真や挿絵を掲載し、必要に応じて調べさせたり、「チャレンジコーナー」を示すことで、児童の生活の中から課題を見つけられるよう促し、家庭学習へとつなげたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような特色がある。○ QRマークがついている内容には動画等のデジタルコンテンツが活用できるようになっているなど、より効果的に授業を進めるための資料が充実している特色がある。○ 各題材において、家庭科の見方・考え方が身に付くよう、キャラクターやマークを活用して学習する上での大切な視点が意識できるようになっている特色がある。○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、改行位置に配慮したり、大題材ごとに「学習のめあて」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。 | |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none">※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 | |